

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成21年11月12日 (2009.11.12)

【公表番号】特表2005-516502(P2005-516502A)

【公表日】平成17年6月2日 (2005.6.2)

【年通号数】公開・登録公報2005-021

【出願番号】特願2003-563238(P2003-563238)

【国際特許分類】

H 0 4 W 16/02 (2009.01)

H 0 4 B 7/24 (2006.01)

H 0 4 J 3/00 (2006.01)

H 0 4 J 13/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 B 7/26 1 0 5 D

H 0 4 B 7/24 G

H 0 4 J 3/00 A

H 0 4 J 13/00 A

【誤訳訂正書】

【提出日】平成21年9月28日 (2009.9.28)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

トラフィックチャネルをセットアップする方法において、

制御チャネルを、同一制御チャネルの中において、前記制御チャネルの期間の 1 / 2 以下である第 1 の制御サブチャネルと、前記制御チャネルの期間の 1 / 2 以下である第 2 の制御サブチャネルとに分割するステップであって、前記第 1 の制御サブチャネルおよび前記第 2 の制御サブチャネルが時間的に連続して発生しているステップと、

前記第 1 の制御サブチャネルおよび前記第 2 の制御サブチャネルにおいて、スロット割当データを送信して、各時分割多重 (TDM) スロットを割当てするステップであって、前記送信することは、前記第 1 の制御サブチャネルにおいて順方向スロット割当データを送信すること、および前記第 2 の制御サブチャネルにおいて逆方向スロット割当データを送信することを含むステップとを備え、

前記逆方向スロット割当データを送信している間に、前記順方向スロット割当データによる順方向トラフィックチャネル割当が抽出され、前記順方向トラフィックチャネルが構成されることを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記制御チャネルは、ページングチャネルであることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記逆方向スロット割当データによって定義される逆方向トラフィックチャネルの送信を、前記順方向スロット割当データによって定義される順方向トラフィックチャネルの送信からずらすステップをさらに含むことを特徴とする請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記順方向トラフィックチャネルおよび前記逆方向トラフィックチャネルは、多くとも

前記制御チャネルの期間の 1 / 2 ずらされていることを特徴とする請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記第 1 の制御サブチャネル上でスロット割当データを送信する間に、逆方向チャネル割当要求をロードするステップをさらに含むことを特徴とする請求項 2 に記載の方法。

【請求項 6】

制御チャネルを、同一制御チャネルの中において、前記制御チャネルの期間の 1 / 2 以下である第 1 の制御サブチャネルと、前記制御チャネルの期間の 1 / 2 以下である第 2 の制御サブチャネルとに分割するプロセッサであって、前記第 1 の制御サブチャネルおよび前記第 2 の制御サブチャネルが時間的に連続して発生しているプロセッサと、

前記プロセッサに結合され、前記第 1 の制御サブチャネルおよび前記第 2 の制御サブチャネルにおいて、スロット割当データを送信して、各時分割多重 (TDM) スロットを割当てる送信機であって、前記第 1 の制御サブチャネルにおいて順方向スロット割当データが送信され、前記第 2 の制御サブチャネルにおいて逆方向スロット割当データが送信される送信機とを備え、

前記逆方向スロット割当データを送信している間に、前記順方向スロット割当データによる順方向トラフィックチャネル割当が抽出され、前記順方向トラフィックチャネルが構成されることを特徴とするトラフィックチャネルをセットアップする装置。

【請求項 7】

前記制御チャネルは、ページングチャネルであることを特徴とする請求項 6 に記載の装置。

【請求項 8】

前記逆方向スロット割当データによって定義される逆方向トラフィックチャネルは、前記順方向スロット割当データによって定義される順方向トラフィックチャネルからずらされることを特徴とする請求項 7 に記載の装置。

【請求項 9】

前記順方向トラフィックチャネルおよび前記逆方向トラフィックチャネルは、多くとも前記制御チャネルの期間の 1 / 2 ずらされていることを特徴とする請求項 8 に記載の装置。

【請求項 10】

前記プロセッサが、前記第 1 の制御サブチャネル上でスロット割当データを送信する間に、逆方向チャネル割当要求をロードすることを特徴とする請求項 7 に記載の装置。

【請求項 11】

トラフィック・チャネルをセットアップする方法において、

スロット割当データを、制御チャネルにおいて受信するステップであって、前記制御チャネルは、前記制御チャネルの期間の 1 / 2 以下である第 1 の制御サブチャネルと、前記制御チャネルの期間の 1 / 2 以下である第 2 の制御サブチャネルとに分割され、前記第 1 の制御サブチャネルおよび前記第 2 の制御サブチャネルが時間的に連続して発生しているステップを備え、

前記受信するステップは、前記第 1 の制御サブチャネルにおいて順方向スロット割当データを受信し、および前記第 2 の制御サブチャネルにおいて逆方向スロット割当データを受信することを含み、

前記逆方向スロット割当データを受信している間に、前記順方向スロット割当データによる順方向トラフィックチャネル割当が抽出され、前記順方向トラフィックチャネルが構成されることを特徴とする方法。

【請求項 12】

前記制御チャネルは、ページングチャネルであることを特徴とする請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】

前記順方向トラフィックチャネルおよび前記逆方向トラフィックチャネルは、多くとも

前記制御チャネルの期間の $1/2$ ずらされていることを特徴とする請求項 11 に記載の方法。

【請求項 14】

トラフィックチャネルが設定されるアクセス端末において、

制御チャネルの期間の $1/2$ 以下である第 1 の制御サブチャネルと、制御チャネルの期間の $1/2$ 以下である第 2 の制御サブチャネルとに分割された制御チャネルを受信する受信機であって、前記第 1 の制御サブチャネルおよび前記第 2 の制御サブチャネルが時間的に連続して発生している受信機を備え、

前記受信機は、前記第 1 の制御サブチャネルおよび前記第 2 の制御サブチャネルにおいて、独立したスロット割当データをさらに受信して、各時分割多重 (TDM) スロットを割当て、前記第 1 の制御サブチャネルにおいて順方向スロット割当データが受信され、前記第 2 の制御サブチャネルにおいて逆方向スロット割当データが受信され、

前記逆方向スロット割当データを受信している間に、前記順方向スロット割当データによる順方向トラフィックチャネル割当が抽出され、前記順方向トラフィックチャネルが構成されることを特徴とするアクセス端末。

【請求項 15】

前記制御チャネルは、ページングチャネルであることを特徴とする請求項 14 に記載のアクセス端末。

【請求項 16】

前記受信機が、前記順方向スロット割当データによって定義される順方向トラフィックチャネルからずらされた、前記逆方向スロット割当データによって定義される逆方向トラフィックチャネルを受信することを特徴とする請求項 15 に記載のアクセス端末。

【請求項 17】

前記順方向トラフィックチャネルおよび前記逆方向トラフィックチャネルは、多くとも前記制御チャネルの期間の $1/2$ ずらされていることを特徴とする請求項 16 に記載のアクセス端末。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0006

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0006】

トラフィック・チャネルを調整するために、基地局プロセッサは、以下の方法で所定のフィールド・ユニットと通信する。第 1 に、基地局プロセッサは、利用可能なチャネルが存在することを念のために確認する。第 2 に、基地局プロセッサは、所定のフィールド・ユニットにメッセージを送信し、利用可能なチャネルをセットアップする。所定のフィールド・ユニットはメッセージを処理して (2～3 エポック) チャネルをセットアップし、セットアップが完了したことを確認する確認応答を送信する (1～2 エポック)。チャネルのティア・ダウン (tearing down: セットアップの解除) のために、基地局プロセッサは所定のフィールド・ユニットにメッセージを送信し、フィールド・ユニットはこのコマンドを処理して (1～2 エポック)、確認応答を返送する (1～2 エポック)。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0029

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0029】

ページング・チャネルをハーフ・エポック持続時間の 2 つのチャネルに分割し、ページング/F およびページング/R オブジェクトを個別に伝送することにより、完全な 1 エポック中に共に連結されて伝送されるページング/F およびページング/R オブジェクトを

伴う完全な標準ページング・チャネルを復号化するのに通常必要とされる、余分な時間のエポックを節減する。また、1 / 2 エポックのみのページング / R オブジェクトを作成することにより、基地局プロセッサ 16 は、エポックの半分まで、逆方向スロット割当のローディングを遅らせる（例えば、第 1 の順方向エポック 32 - 1 の開始ではなく第 1 の逆方向エポック 52 - 1 の開始でローディングを開始する）ことができる。これにより、通常であればもう 1 つのエポックを待つことが必要となる、割当に入るための遅れた要求が許容される。